

## <<プロフィール>>

「教育ICT, 情報モラル教育スペシャリスト」

【桑崎 剛 (Tsuyoshi Kuwasaki)】



内閣府「青少年インターネット利用環境整備・普及啓発検討会議」委員長  
安心ネットづくり促進協議会 特別会員  
兵庫県立大学 環境人間学部 客員研究員

熊本市出身 東京理科大学理学部数学科卒業  
専門は数学教育、教育ICT、情報モラル教育

東京都私立高等学校講師、東京都北区立中学校教諭を経て熊本県内の公立中学校教諭、熊本市教育委員会教育センター指導主事、熊本県内の公立中学校教頭、熊本市立総合ビジネス専門学校教頭を歴任し退官。現在は教育ICTおよび情報モラル教育の普及啓発に向け、講演や著書等の活動を展開している。

教諭時代は東京工業大学教育工学開発センターにて研究生として情報教育について研究した。文部科学省「教育の情報化総合モデル支援事業」企画評価委員等に従事し、その後、安心ネットづくり促進協議会（5省庁で所管する産官学のネット利用環境整備啓発団体）の特別会員や、EMA（モバイルコンテンツ審査運用監視機構）の賛助会員、内閣府の上記委員長、日本教育工学協会(JAET)理事、日本教育工学会(JSET)企画委員の他、九州ICT教育支援協議会会長、総務省九州総合通信局「青少年安全安心ネット利用促進連絡会」座長を務める。

また、内閣府主催「青少年ネット環境整備フォーラム」や文部科学省主催「ネットモラルキャラバン事業」において全国で講演活動をおこない、昨年度から文部科学省委嘱「ネット依存対策委員会」の委員、厚生労働省委嘱「熊本ネット安心活用ワークショップ実行委員会」委員長にも就任し研究活動を展開している。H27年4月から兵庫県立大学環境人間学部の客員研究員としても活動している。

テレビ東京「ガイアの夜明け」(2008年5.20放送)へのTV出演他、新聞へ多数の記事掲載など、「青少年のネット問題」における第一人者である。H22年には情報通信月刊における総務省九州総合通信局長表彰を受賞し、H24年8月掲載の月刊「心とからだの健康」の論文はH25年度の北里大学医学部入学試験で小論文に採用されるなど、論文、執筆掲載も多数である。学校、教育委員会、私学協会、塾・予備校、PTA、医師会はもとより、企業セミナー関係等、幅広く県内外からの依頼で全国で講演を展開し、ネット社会の成熟のために活動している。